ふれあい中須

平成２０年
１１月１５日号

編集発行
中須をよりよくする会
中須公民館

●産業文化祭

十一月八日（土）・九日（日）、今年もルーラルフェスタ（棚田米フェスタ）と同時開催で、中須地区産業文化祭を総合運動場で開催しました。

土曜日は、小雨、日曜日は、雨は降らなかったものの、冷たい風が吹き、気温も低いという決して好条件ではありませんでしたが、中須地区だけに限らず、多くの方々が来られました。

ステージでは、小・中学生、久保神楽、日本舞踊、野いちご文庫、ひょっとこ一座など、多くの方々にご出演いただき、また、バザーや作品展示などもあり、大いに盛り上がりました。

きっと、会場を訪れたみなさんに、わがまちの「なかずパワー」を感じていただけたはず・・・・。

『Yes we can!』

●市民運動会

十月十九日（日）、すばらしい秋晴れの下、中須地区市民運動会が開催されました。

今年は、五十回目の記念大会となりました。

餅まきや豪華景品がもらえるジャンケン大会なども行われ、例年以上に盛り上がりました。

みなさん、お疲れさまでした。

なかず再発見！

～水ためしの神事の巻～

今回の再発見は、戻路大番社の『水ためしの神事』です。

県道徳山光線沿いにある鳥居から少し奥へ入ると、そこには、木々の間から太陽の光がうっすらと差し込み、とても静かで神秘的な空間が広がっています。

そして、石段をあがった所に、大番社（大幡宮）がありました。

この場所では、毎年十一月二十五日に、『水ためしの神事』が行われます。

神饌の小餅十二個（閏年は十三個）、酒一合、小鯛二匹を素焼きの壺に入れ、樫の木の下に埋め、そして、一年後に掘り出し、当屋の主が、木片を壺の中に入れて前年の供物が溶けて水になっているその量を測り、その水の量が六合以上であれば、次の年は、干ばつにならないといわれています。

古い記録が残っていないため、詳しいことは分かりませんが、素焼きの壺の様子からしても、かなり古い時代から、この神事が行われていたのではないか、とのことでした。

私は家に帰り、この不思議な神事の話を、さっそく子ども達にしてみました。

すると、七歳の息子は、

『たからものみたいじゃね』

確かに、そもそもこういった神事が行われているということは、『水』というものが、この地域の昔の人々にとって農作物にはもちろんのこと、生活していくうえで必要不可欠な何よりも大切なもの、いわゆる宝物であったのかもしれません。

その話をそばで聞いていた三歳の娘がニコニコしながらうれしそうに、

『それなら、ドーナツいれよ～っと』

ちょっと違うけど・・・まあ、いいか。

今回の取材にあたり、いろいろと教えていただきました、林熊雄さんどうもありがとうございました。

（写真・文　公民館主事　福田）

ちょっとひとこと

大田原（中須）の豊かな自然は貴重な財産

大田原自然の家が、中須小学校大田原分校の後を受け継いで開所して、今年で二十七年になります。

開所にあたって、特色を何にするかいろいろと思案しましたが、大田原の地の利を生かした田畑を使って作物をつくる体験活動を中心に据えました。

現在、食育や地産地消、安心安全な食べ物など「食」への人々の関心が高まり、自然の家で継続してきた食農・食育活動が評価されるようになっています。

また、自然の中での生活や体験が、心と体を癒し、豊かな人間性を育むことも実証されています。

このように、田舎の良さが見直される追い風の中で、生活とつながった田畑や里山などの豊かな自然（財産）を、守り育て、そして、時代を担う子ども達や必要とする人々のために有効に活用することが、私達の使命であると肝に銘じています。

大田原自然の家
石田　輝明

11月･12月の行事予定

日　時	内　容	場　所	備　考
11月15日(土) 13:20～14:00	移動図書館 やまびこ号	中須支所	
11月20日(木)	小学校感謝の日	中須小学校	
11月25日(火)	大番社水ためし神事	戻路大番社	
11月30日(日)	周南市郷土伝統芸能大会	周南市文化会館	久保神楽出演
12月　2日(火) 13:20～14:00	移動図書館 やまびこ号	中須支所	
12月　6日（土）	中須ツリーまつり		中須ツリーの会
12月10日(水) 19:00～20:00	土砂災害指定の説明会	中須公民館	

中須地区産業文化祭
作品展示室（中須保育園）

中須の人口　１１月１日現在

		前月比
男	４３０人	(－３人)
女	５０７人	(－２人)
総人口	９３７人	(－５人)
世帯数	４２９世帯	(－１世帯)
高齢化率	４３.７％	